

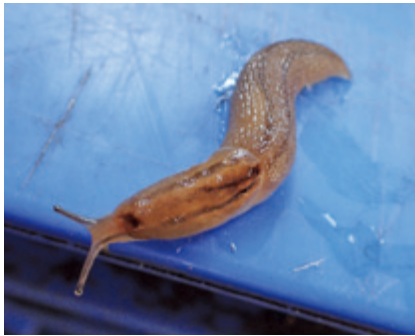


## キノコの害虫と防除について

【指導員】 園芸果樹課 鈴木 琢磨

10月中旬となりすっかり秋の陽気となりました。キノコ栽培においてはこれから最盛期を迎えるわけですが、安全安心、高品質なキノコを消費者にお届けするには害虫の防除は必須です。ここでは害虫の種類と防除についてご紹介します。

### ナメクジ



ナメクジ

【生態】 外来種で野外での寿命は約一年と言われている。命は約一年と言われている。野菜などをほぼなんでも食べます。繁殖時期は初冬と早春。夜行性のため昼間は湿気の多い物陰に隠れています。菌床栽培における隠れ場所は側面水の水際付近です。

【防除】 生息場所をなくすための施設周辺を除草します。また、床への忌避剤（つばき

油やラベンダーオイル、ハツカ油、木酢、食酢が有効)の散布や卵の駆除、成虫を割り箸で捕殺などが挙げられます。(夜行性のため夜間の捕殺が効果的)

ナガマドキノコバエ、ガカンボ、クロバネキノコバエ (ハエ目)



ナガマドキノコバエ

【生態】 幼虫はキノコを優先的に食害し、菌床も食害します。メスは羽化初日から産卵をはじめ、3日で150個に

達します。20℃および25℃での孵化率が最も高く、20℃未満では半減するため、繁殖を鈍らせるには15℃での発生管理が効果的です。



クロバネキノコバエ

### ケツメカ (ハエ目)

【生態】 近年、管内での繁殖が増えています。幼虫のキノコへの食害はありませんが、菌床内に侵入して食害するたため、菌床が傷みやすくなります。1世代のサイクルは20日間程度で爆発的に増殖します。

【ハエ目の防除】 換気口とハウスの出入り口に目の細かい防虫ネットを設置します。光に集まる性質があるため、夜

間は消灯光誘引による捕虫機具を活用するか、粘着シールにて捕殺します。菌床表面をマッシュクリーンで湯散布して幼虫を殺します。



ケツメカ



ここに記載した防除方法以外にもさまざまな防除の仕方があります。キノコ栽培において農薬を使うことはできませんので、害虫が発生しないためにも常にハウス内外をきれいな環境に保つことが大切です。害虫防除を徹底し高品質なキノコを栽培を目指しましょう。